

田 辺 定 関 係 資 料 目 録

国立国会図書館憲政資料室

2007 年 12 月作成
2007 年 12 月 PDF 作成
2008 年 11 月訂正

目 次

I	日記	1
II	田辺定宛書簡	
	(1) ブラジル関係	1
	(2) 日本関係	8
III	田辺定書簡	12
IV	田辺定著作	13
V	書類	
	(1) ブラジル渡航前	14
	(2) 戦前期ブラジル	15
	(3) 終戦直後	18
	(4) モジ認識運動	21
	(5) 戦後	23
	(6) その他	25
VI	田辺新之助宛書簡	26

I 日記

-
- 1 騎兵一聯隊入営時日記 1冊

大正13年12月1日～大正14年4月20日

-
- 2 神奈川丸移民輸送日誌 監督助手 田辺定(昭和2年 第79回)

海外興業株式会社に提出されたもの。原資料はブラジル日本移民史料館所蔵。電子的複写。

-
- 3 昭和6年日記 1冊

-
- 4 日記 1冊

昭和9年3月18日～昭和11年1月19日 空白期間あり

-
- 5 昭和15年日記 1冊

1月1日～15日の余白に戦後母宛第一信の下書き(昭和21年9月20日)あり。

II 田辺定宛書簡

(1) ブラジル関係

-
- 6 日沖剛 5通

1930.7.10「後日パ(ラグアイ)拓殖の創始者日沖剛より 結婚祝い。後年パラグアイ テコルナ在住中 NHKを介し旧友を暖め逝去まで文通」、1968.12.14「平松薫氏の訪パ アンデスの声の尾崎さん その他の知人の話」、1968.7.28「パラグアイ拓殖主事、叙勲、NHKの事、兄至死去の悔み」、1970.6.30「NHKのケガを報じた仲介で日沖の先輩と文通を復した」、1970.9.21「手のケガに付いて、知人の消息」

7 野村隆輔 23通

1930.2.9「野村さんの身に沁みる教訓、土地問題と結婚問題」、1930.5.21「結婚祝い、御祝儀の事」、1931.5.24「アバニヤダード近況、日沖剛氏の事もある。」、1934.3.6「近況、コーヒーの値が上りマージャンとテニスで生活を楽しむ」、1935.1.19「二百ミル返済を受取った件 出席したがウンチャンのボイコットで閉口したとある」、?7.1「謡曲会でスザノで会う 渡辺さん(未亡人)訪問」、1941.1.25「大橋了介画伯歓迎の事、写真を預ける予告」、?9.21「終戦時野村様の近況消息 認識正論について」、1948.7.20「バザー開店の手引き」、1953.3.30「虚子の二女星野立子の来伯についての意見、激励」、1954.2.10「サンパウロ四〇〇年祭当時」、1957.5.26「野村様より依頼 石崎氏に同船会の通知をたのまれた。勿論懇意の間柄で伝言は果す。」、1967.9.28、1963.3.23、1963.6.30「溝口未亡人の住所等」、1969.11.30「野村さんの書かれたレジストロ五十年誌のこと」、?6.5「田辺訪日に当り東京の令弟末次氏を紹介せられたが連絡なかった」、1971.7.14、1978.2.10「野村様八十六才の時 昔のチエテ移植地の事を教えてくれた、田辺フェラス老人ホーム事ム長時代、野間老婆の事を野村さんに伝えた事の返事」、1973.10.18「訪日より帰国して近況お知らせ」、1979.12.20消印「年賀ナタール賀状だけ」、1980.9.24「晩年の手紙」、1981「自筆最後となった筆賀状」

8 井口吉三郎 15通

那須野書簡1通を含む

井口吉三郎は、田辺と同船、レジストロ植民地、モジ。?8.31「モジからの第1信」、1928.8.7、1928.11.22消印、?5.18、?8.13、年月日不明、年月日不明、?5.3、?1.20、?3.11、?6.26、?12.23、?3.30「脅迫状の件」、?4.8 野村仲三郎暗殺事件直後に書かれたもの「モジ方面認識運動田辺に対しイタケノラ方面認識運動リーダー井口吉郎(現フェラス・デバスマン・セーロマ市長井口信氏の父で田辺とは昭和二年神奈川丸同航以来の友人)」。那須野は同航者。?8.18那須野書簡。井口吉三郎のこと

9 末松明 5通

坂元靖書簡を含む

末松明は同航者で田辺が世話をした。1927.6.19 到着直後の礼状、1927.6.27消印 落着き先住所のお知らせ、?12.6、6.8.11「鹿児島中学卒業神奈川丸同航単独移住者、連隊長の子息、育ちのよい青年だったがこの手紙の二年後に逝去した。」。海外興業株式会社伯国支店リペロンプレート支店長 坂元靖書簡(原文は移民史料館 コピー)昭和8.8.4 末松の死去を伝えるもの

10 高橋久之助 3通

モジ市認識運動リーダー 終戦直後の書簡2通と「農場を売却してモジ市でバザール開店するに当り先輩高橋久之助氏に種々意見を求めた事に対する返事 以後25年の商業に踏切るに役立った」という1通

11 その他書簡 1927～1938 17通

田 辺 定 関 係 資 料

溝口忠男

1927年2月末日

「神奈川丸便の監督溝口忠男氏より出帆の通知」

静文雄

昭和2.7.24

同航の神奈川丸医師

静耕策

昭和2.11.15

文雄の弟

栃内

1927.7.19 「昭和2年6月23日レジストロ植民地に向うべくジュキヤの土井ホテルで初対面の栃内氏に会う。勸業銀行の社員、義弟がパラナアントニーナに移住して同行してレジストロに視察に向うという、翌日河蒸汽でレジストロに伺う。その人から手紙で写真を送ってもらった。」

小玉泰

レジストロ 開成中学の2級後輩

渋谷初

1928.7.17

「レジストロ海興種畜牧場の先輩 退植してアリアンサに移動した折」

石田武

昭和3.9.25 海興に勤務することになった通知、「陸上競技の盛況」

2通

中元滝槌

昭和4.9 「レジストロ中元君より 気が動いている」、1929.9.29

2通

白鳥堯助

1930.7.30 海外興業株式会社伯刺西爾支店長。大礼記念章保管について、1931.2.19電子的複写

石田俊

「父は石田常次郎海運大佐 石田俊君はレジストロ牧場時代の同僚、弟分だが仕事は私より先任、1960年代に死」 1935.5.25 「半沢家に養子に行く話」、1936.4.13

在サンパウロ帝国総領事館 不正規滞在者二関スル件

昭和13年11月17日

田辺定の旅券の渡航目的が移民輸送監督助手としてと有する事に付て問合せに対する返答

2通

貞雄

館野正三

「館野君結婚して奥さんと同道寄って行った。この夫人は間もなく逝った由」

12 その他ブラジル関係者書簡 1945～1948

10通

谷崎健一

1945.8.21 「親友健一君が戦後最初に寄こした手紙、モジ組合長故渡辺氏に関する事は別に説明を付することとする。佐川義信専務が渡辺氏の協力者の様に見える実は不思議な行動があった事の証拠になる手紙である。」

山田一雄

1946.4.18

紺野太郎

1947.9.16、1947.10.12 ローマ字の手紙

2通

鈴木善夫

1948.7.8

溝口ハルミ

慰霊祭・追悼会の礼状 活版 1通 1948年12月

奨学舎舎監坪内忠治氏送別会案内状

「奨学舎の坪内教員夫妻は戦没者慰霊祭を行い「敗戦」の言を用いたとして解雇された。」

聖市太陽堂書店

年代不明

揮旗深志

結婚式案内

Miyagi Suzuki葬儀会葬御礼

1947.1

13 その他ブラジル関係者書簡 1970～1981

10通

橋本吾朗

1970.5.19消印 「パパモスカとハツ頭の違いを教えられた。」

石井恒

1970.12、1972.4、?.12.16消印 「晩年の手紙」

大原友重

1978.7.6 集会通知、1980.8.8 「集会の様態と受信の状態 拙文パ紙投稿の批評」

谷村 Tatsuro

モジ市カトリック会神父 1978.7.25

星野瞳

1978.8.15

Minoru Hirano

1981.3.25

城島慶次郎

1981年6月10日

「パウリスタ新聞に田辺新之助についての文章を掲載したことについて」

(2) 日本関係

14 大仏次郎

2通

はがき 田辺が騎兵第一聯隊第一中隊在籍時、野尻名 封書1通

15 高浜清

昭和2.1.31

はがき

16 高浜虚子・立子

昭和28.6.19消印

17 星野立子書簡・メモ（「虚子先生のお嬢さん方の消息」(田
辺宛の佐原のメモも含む)

3点

メモは星野立子が玉藻会旅行団歓迎会席上で謡曲鞍馬天狗の覚書に書いたもの

18 大宅壮一

昭和29.9.1

はがき(電子的複写)

19 徳川義寛

1970.9.6

侍従長 モジスサノ週報天皇誕生日号とブラジル発行鳥類切手について

20 三淵忠彦

はがき

21 南部忠平

1974.10.5

22 岡田眞吉、中村菊三、津田正房

6通

親友3人。岡田眞吉は映画評論家。昭和3.1.23「三人の寄せ書き」、岡田2通、中村2通、津田1通

23 その他日本関係者書簡

7通

森川義規

昭和23.6.19 ?2.8

2通

白鳥猶吉
昭和23.6.20

江村重男
1948.8.31

中村菊三
昭和33.7.31

Jun Takahashi
昭和45.12.16
はがき

田辺亀子(妻)宛 山口県阿武郡阿東町長
昭和37
山口県海外移住家族会

田 辺 定 関 係 資 料

25 家族書簡 2 1通
田辺新之助(父)

26 家族書簡 3 2通

27 家族書簡 4 1通

28 家族書簡 5 4通

29 家族書簡 6 5通

30 家族書簡 7 11通

31 家族書簡 8 7通

32 家族書簡 9 5通

33 家族書簡 10 1通

34 家族書簡 11 1通

III 田辺定書簡

35 父宛(控)

父の死を知らずに父宛に出したもの。冒頭部分欠落 臣道連盟のテロによる日系社会の混乱に言及

36 戦後兄への第一報(下書き)

1946年9月

ペン書

37 NHK友の会 茂木会長宛(控)

「意見を求められた事に対し返信」

38 挨拶状草案

1978頃

「日本語教室を引受けるに当り父兄への挨拶状草案」

39 花満弘満宛

花満は国立国会図書館職員。1985.9.26 田辺の経歴が記されている。

IV 田辺定著作

40 新聞切抜き帳

田辺定が新聞等に寄稿した記事。星野立子、田辺元関係の記事も含む。

41

わが町生い立ちの記(草稿)

2点

巻頭のことば

V 書類

(1) ブラジル渡航前

42 軍務 3枚

定ノ入営ヲ送ルニ付 田辺新之助
大正13年11月27日

1冊

学課控帖 田辺定
大正13年2月

電子的複写1枚

一年兵志願証書
大正13年8月12日

電子的複写1枚

一年志願兵納金 領収証書 日本銀行藤沢代理店
大正13年11月15日

電子的複写1枚

入営命令書
大正13年11月4日

電子的複写1枚

甲種第貳拾八番

(2) 戦前期ブラジル

43 ブラジル渡航

送田辺定氏之巴国 片野晃陽

筆書き

母の書

鉛筆書き「母が慈慶の限りを書して準備した日用品の数々を書き留めた覚え書き」

旅券

昭和2年3月31日

Suplemento do passaporte

海外興業からの心づけ(計算書)

44 航海

日本郵船 デイナーメニュー

1927年6月14日

神奈川丸第74次 船員名簿(右端が喪失)

移民船神奈川丸船内各室略図

航海中のメモ、チラシ、荷札等

12点

45 モジ・ダス・クルーゼス産業組合(戦前)
鶏糞養鶏に就いて 渡辺孝
謄写版

1枚

モジ・ダス・クルーゼス産業組合渡辺孝理事長の急逝 田辺定 1939年2月18日
(追悼文)
ペン書

2枚

故渡辺理事長葬儀明細書
ペン書

1枚

渡辺理事長最後の意見書(手写)

育雛舎に就いて
1938.4.22
謄写版

1枚

鳥の歩合飼育契約書
カーボン、ペン書

2枚

ハッカの用途
年代不明
ペン書

46 場員希望事項 施設計画 思い付き 控帖
1940年?
ペン書

1冊

47 戦前期雑書類
セントラル線文化クラブ
年代不明

2枚

1枚

コックエーラ青少年団日誌断片

大政翼賛会実践要綱 写
ペン書

大東亜戦争宣戦 詔書 謹写 田辺定

1点

日本病院診療部 診療券 田辺功
昭和14年7月12日初診

青少年団活動に対する表彰状 モジダスクルーゼス中央日本人会(別置)
昭和16年5月18日

(3) 終戦直後

48 デマニュース
デマ報 江森筆 青年団より
ペン書

青年会配布のデマニュース

鉛筆書 昭和20年11月22日「モジ・コクエーラ青年会に配付され会員の多くより信じられた怪ニュース
サンパウロより流入したもので誰が持ち込んだかは判る。」

断片

- 49 元同盟通信社椎野豊が知人(中村三吉)に寄せた手紙の一節の写 (日本の現況) 3枚

鉛筆書、ペン書 昭和20.9.18「先に伯国に住み知人の多い椎野豊氏が、知人に寄せた手紙の一節、
これは真実の現況を伝えている。」

- 50 鐘ヶ江牧師の日本近信

ペン書

- 51 田中隆吉「日本の敗戦を衝く」北米邦字新聞コロラド時報 1月18日掲載 写 2点

ペン書と鉛筆書 各1部

- 52 1点

終戦詔書

鉛筆書 外国語訳からの翻訳

降伏文書調印に関する詔書
鉛筆書

1点

天皇の人間宣言に関する記事
鉛筆書

1点

53 「陸海軍人に給へる勅語」(昭和20年8月18日) 写し

鉛筆書 偽書

54 1946年新聞記事筆写

昭和16年常用日記に書かれているが、日記はわずかしか記載がなく、その記事を赤鉛筆で抹消し、1946年の新聞記事を筆写したもの。

55 新聞記事・ニュース報道 写

戦中のニュースを含む。

11点

56 「日本の指令の下に殺害す！」(1946年4月1日 ガゼッタ紙
掲載)

ペン書。「日本シンドウレンメイ事件に付ての記事 訳者はモジ産業組合専務理事たりし鈴木善雄」

1点

57

田辺定、本多慶三郎ら内山岩太郎宛書簡
写(カーボン)

在伯同胞識者諸君 内山岩太郎
1948年正月
カーボン。田辺定宛の言葉が手書きで書かれている

58

「我等の主張」パウリスタ新聞社
1946年10月26日

Journal Paulista 購読料領収書
1946年12月

(4) モジ認識運動

59 現下の時局に就て コチヤ組合産業組合 下元健吉 2点
1946年4月10日、1946年4月25日評議会
鉛筆書

60 伯国時局認識運動宣言 田辺定、高橋久之助、紺野一郎
鉛筆書

- 61 認識運動の集会挨拶 草稿 1枚
鉛筆書
-

- 62 日本戦災救済会 モジ地方委員会 寄付者名簿
1950年9月15日
-

- 63 8月15日の新聞記事切抜き 「モジ「あれこれ」問答」鞍馬天
狗
-

- 64 慰問小包関係通信
1951-1952年
-

- 65 贈物小包発送注文書
1951-1952年
-

- 66 慰問小包発受領関係書類
-

67 水泳選手(遊佐監督、古橋、橋爪、浜口、村山)をモジ市に
迎えて

メモ、写真1枚

68 元青年連盟土地問題に関する大意

4枚

謄写版

69 モジ読書クラブ

モジ・ダス・クルーゼス切手クラブ

鉛筆書

モジ・ダス・クルーゼス読書クラブ趣意書

こんにやく版

図書購買組合趣意書

ペン書

(5) 戦後

70 モジ・ダス・クルーゼス組合関係(戦後)、等

モチ蘭花卉同好会発足のお知らせ

モジ・ダス・クルーゼス州立協働農事修練所設立にさいして
1957年10月30日

三笠宮・同妃のモジ産業組合立寄りの経緯
1958年

長尾藤太郎推薦状
1976年6月
草稿と田辺に断りなく書き換えて提出された版

2部

米田繁寿推薦状
1977年2月17日

南米銀行挨拶状
1960年11月30日

神奈川文化援護協会開催通知
1967年2月1日

71 イグアッペ開植五十年祭(1963年7月)関係

書簡、新聞記事

72 在留邦人実態調査表 在サンパウロ日本国総領事館(下書き)

昭和29年10月

73 昭和46年第40次最終航海 アルゼンチン丸 航海 正午位置

1971年の帰国航海中の正午の位置を記したノート

74 メモ断片

(6) その他

75 大仏次郎記念館 パンフレット

大仏次郎『帰郷』の芸術院賞受賞記事も含む

76 南米事情及意見 タイプ

最後のページが半分欠落。袋には山縣勇三郎氏、隈部三郎氏とあり

77

火野葦平「悲しき兵隊」綴り
「悲しき兵隊」こんにやく版と「土と兵隊」雑誌切抜きを綴じる

悲しき兵隊 火野葦平 東京日日新聞所載
写(ペン書)

78

安部季雄 著作写し

『将軍への追想』写

79 『日本語(5)』日伯文化普及会
1961

VI 田辺新之助宛書簡

80 松方正義書簡 1点

81 大浦兼武書簡 2点
明治37年10月20日、年月日不詳

82 樺山資紀書簡 1点
大正7年1月23日

83 陸奥廣吉書簡 1点
昭和元年
